

佐渡裕(芸術監督)渾身のプロデュースオペラ第2弾! 明治時代の港町・長崎を舞台に繰り広げられる美しくも哀しい愛の物語。
これを観ずしてオペラを観たというなかれ! 豪華キャストと新演出でお贈りする夢のロングラン公演!!

蝶々夫人

GIACOMO PUCCINI'S OPERA
MADAMA BUTTERFLY

佐渡裕芸術監督 プロデュース
オペラ「蝶々夫人」

[全3幕/イタリア語上演・日本語字幕付/新制作]
上演時間:2時間45分(予定) 休憩含む

追加公演決定!
一挙8公演ロングラン!!

2006

7/15(土), 16(日), 17(月・祝)

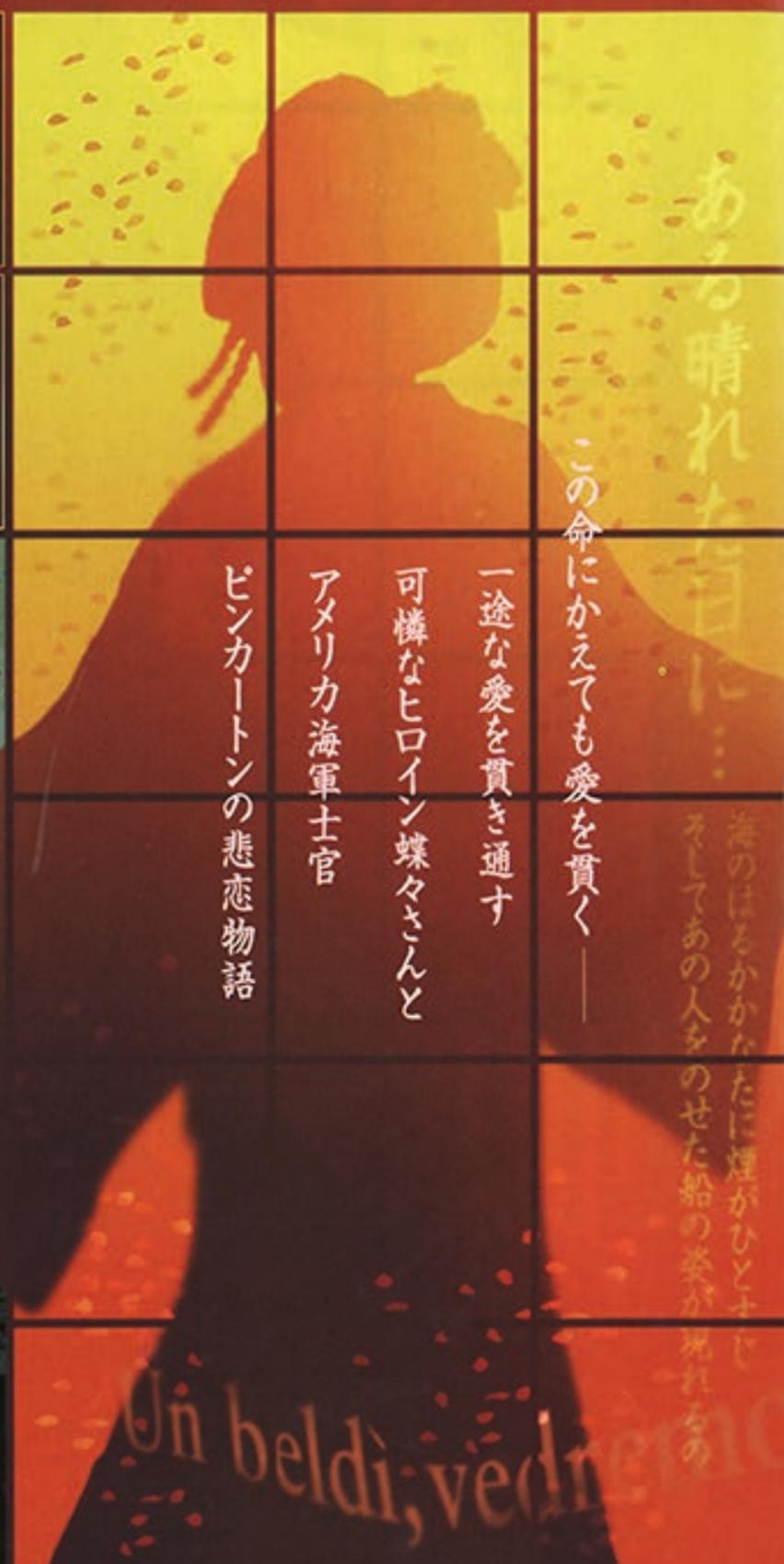
19(水), 22(土), 23(日)

追加公演

20(木), 21(金)

各12:00PM開演(1:15PM開場) [全8公演]
兵庫県立芸術文化センター大ホール

音楽:ジャコモ・プッチーニ
台本:ルイーゼ・イッリカ、ジュゼッペ・ジャコーザ
芸術監督・指揮:佐渡裕 演出:栗山昌良
美術:石黒紀夫 照明:沢田祐二 衣裳:緒方規矩子
舞台監督:金坂淳台 プロダクション・ディレクター:小栗哲家
プロダクション・マネージャー:関谷潔司(兵庫県立芸術文化センター)



世界中で愛され続けるオペラ 「蝶々夫人」

あまりにも有名なアリア「ある晴れた日に」をはじめ、「愛の二重唱」「花の二重唱」など、心をとらえて離れない数々の名旋律と豊かな管弦楽によって、ドラマティックな世界を表現力豊かに描き出した傑作。過酷な運命の中、一人の女性としてひたすら信念を貫いて生きる蝶々さん。この気高さが世界中で愛され続ける所以なのでしょう。

また、舞台が日本であることから「さくらさくら」お江戸日本橋「君が代」などのなじみ深いメロディーも随所に現れます。今回、日本で制作する日本人によるこの公演は、海外で上演される「蝶々夫人」とは違う魅力を感じさせるとともに、オペラの醍醐味を存分に味わわせてくれるに違いありません。

Story

【第1幕】舞台は明治初期の日本。もとはは高い武家に生まれながら、困窮の中で芸者として身を立てていた長崎の少女・蝶々は、ゴローの斡旋でアメリカの若い海軍中尉ピンカートンと結婚の契りを結びます。領事シャープレスは、無責任な青年の決断をたしなめますが、観望者から反対される中、蝶々もピンカートンに途絶した愛を聞きます。

【第2幕・第3幕】しかし、青年はまもなく任期を終え、「別荘が壊れるころに戻ってくる」という言葉を残して日本を去ってしまいました。「お前は騙されたのだ」という中傷をよそに、頑なにピンカートンを信じ、さらに困窮する生活の中でいつになるとも知れないその帰りを待ち続けていた蝶々は、三年ののち、ついにピンカートンの乗った艦が長崎に入港しているのを目にします。新床を迎えた夜と同じように、部屋中を花で一杯にして、ピンカートンの帰りを待つ蝶々。しかし、夜になり、空が白んでも、戻ってくるはずのピンカートンは蝶々の前に姿を現しません。最後に明らかになった運命を前にしたとき、蝶々は自らの死を選ぶのです。

◎主な登場人物

- 蝶々さん
長崎の芸者として生まれ、やむを得ず芸者となる。17歳でピンカートンと結婚し、キリスト教に改宗し、一途な愛を貫く。
- ピンカートン
アメリカ海軍中尉。蝶々からの「アイビー」の誓いを、蝶々さんの結婚後、一度も果たさなかった。
- ゴロー
蝶々の仲介者。
- シャープレス
領事のアメリカ代表。蝶々を待ち、しばしば蝶々とピンカートンを見守る。
- スズキ
蝶々の友人。精神的に支える。
- ヤマドリ
蝶々の友人。結婚を促す。
- ケイト
ピンカートンの(本名)の正式な妻。
- ボンゾ
蝶々の友人。キリスト教に改宗した蝶々さんを見守る。

ジャコモ・プッチーニ
(1858-1924)
イタリア・オペラの巨匠。
「蝶々夫人」は彼の三大傑作の一つ。
その音楽の美しさと、
ドラマティックな展開は、
オペラ初心者から
熱心なファンまで
世界中で愛されている。



Cast

- 蝶々さん
- 浜田 理恵 (7/15,17,20,22)
日本での活躍だけでなく、フランス各地の歌劇場で主演、絶賛を得る、国際的プリマドンナ
 - 大岩 千穂 (7/16,23)
ミラノを拠点に活躍。圧倒的な存在感と表現力で世界を舞台上に熱い注目を浴びる
 - 並河 寿美 (7/19,21)
昨年「ヘンゼルとグレーテル」(宝塚歌劇団)に出演。今後ますますの活躍に注目が集まる地元期待の星

- ピンカートン
- アレックス・ロバート
(7/15,17,20,22)
 - ジョン・マッツ
(7/16,19,21,23)
- シャープレス
- デヴィッド・オーカーランド
(7/15,17,20,22)
 - キュウ・ワン・ハン
(7/16,19,21,23)
- スズキ
- 坂本 朱
(7/15,17,20,22)
 - 小山 由美
(7/16,19,21,23)
- ゴロー
- 晴雅彦
(7/15,17,20,22)
 - 松浦 健
(7/16,19,21,23)
 - 神官
花月 真
(7/19,21,23)
 - 町英和
(7/19,21)
- ボンゾ
- 松下 雅人
(7/15,17,20,22)
 - 菅野 宏昭
(7/16,19,21,23)
- ヤマドリ
- キュウ・ワン・ハン
(7/15,17,20,22)
 - 池田 貴樹
(7/16,19,21,23)
- ケイト・ピンカートン
- 柳澤 涼子
(7/15,17,20,22)
 - 佐々木 武奈
(7/16,19,21,23)

合唱=ひょうごプロデュースオペラ合唱団 管弦楽=兵庫県立芸術文化センター管弦楽団